

●しやべり場

「アイレックとわたしの20年」

フアシリテーター牛島光恵さんのもとで、三グループに分かれてアイレック20年について話し合いました。元センター長の菊池靖子さんからは設立の経緯や市民参画のしくみづくりについて、子育てネットワーク・ピッコロの小俣みどりさんからは、講座からNPO立ち上げに至るお話。アイレックのさまざまな委員やサポーターを経験されてきた橋本直「子さ」んからは、オープニングから20年の歩みを、お聞きしました。「ここで本当の民主主義を体験できた。アイレックは学びの場であった。成長の場でもあった。」という話が印象的でした。(表紙の写真⑥)

●人権かるたをとろう

「子どもと考える男女平等参画」

清瀬第十小学校五年生の皆さんが人権をテーマにかるたを制作してくれました。男女平等や平和への願いが込められた色とりどりのかるたで、かるた大会を行いました。会場では大人も子どもも、必死に札を取り合う姿に笑いが絶えませんでした。(表紙の写真①)

(成田)

●手を組めば新しい音
清瀬から響け人権と平和と愛のメロディ

- 出演者 —
- 清瀬室内合唱団
 - 村松美和子 (ソプラノ歌手)
伴奏 福本茜紗
 - ハーモニー 999 (ハーモニカ演奏)
 - 城野兼一 (フォークシンガー)

多彩な出演者たちにより、幅広いジャンルの曲目が演奏されました。終わりに「一人の手」を全員で歌い、手拍子も入って盛り上がりました。(表紙の写真④)

(福田)

●登録団体・サポーターによる展示・バザー

4階は人の渦。バザーは大賑わい。掘り出し物、つい買ってしまった物。売買が成立した時、笑顔と笑顔があちらこちらで見られました。

そこに華を添えたのが、登録団体・サポーターによる活動展示のパネル。特色が生かされた展示はどれも味わい深く見応えがありました。(表紙の写真⑤)

●アイレック20周年記念パネル展示

7階のアミュービルロビーには、1年ごとに作成されたパネルがずらりと23枚展示されており、圧巻でした。一つひとつに20年間の想いと工夫が詰まった力作揃いでした。(表紙の写真⑧⑨)

(河原)

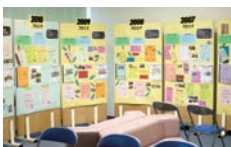
4F展示



バザー会場



7F展示



編集後記

■20年前は高校生、私もルーズソックスを履いてました。今では五本指ソックスと着圧ソックスが足のお供です。(河原)

■20年前は若かった？振り返ってみると、悪戦苦闘の日々無事に乗り越え、これまでの経験を活かして、残りを悔いのない人生をと思います。(近藤)

■今回の特集を通して「私はこの20年、どのように過ごしてきたんだろう」と思い返しました。親の病气。それに伴う清瀬への引っ越し。いろいろありました。(筑紫)

■20年後、私にも孫がいるかも。その時、娘は何の不安もなく出産できる世の中になっているだろうか。住みよい未来への一歩ずつとなりますように。(成田)

■20年前はばらばらだった皆さんと、現在はつながっていることがうれしいです。これからもよろしく願っています。(福田)

■祝アイレック20周年。これからの20年を、これまでの20年よりもっと男女共に暮らしやすい社会にするために、私たちが何をすべきか、何ができるか考えていきたいと思えます。(安井)

ミス Ms. は女性を総称し、スクエアは広場や広報を意味しています。

アイレック (ILEC) とは、Information (情報)・Learning (学習) Exchange (交流)・Consultation (相談) の頭文字をとった「清瀬市男女共同参画センター」の愛称です。

次号86号の発行は2016年4月1日です

表紙の撮影場所 清瀬市男女共同参画センター
清瀬市生涯学習センター

発行/清瀬市男女共同参画センター
発行日/平成27(2015)年12月1日
企画・編集/清瀬市男女共同参画センター
〒204-0021 清瀬市元町1-2-11 アミュービル4階
☎042-495-7002 FAX 042-495-7008
女性広報「Ms.スクエア」編集委員会
編集委員/河原貴子/近藤礼子/筑紫かおり
/成田志徳美/福田祥子/安井尚美
デザイン/福田祥子
イラスト/成田志徳美

「Ms.スクエア」の音訳CDを作成しています。
ご希望の方は、男女共同参画センターへご連絡ください。

皆様の声募集中

「Ms.スクエア」は公募による市民の編集委員6人が企画編集して発行している情報誌です。85号はいかがでしたか？ご意見、ご感想、今後取り上げてほしいテーマなどを、郵送・FAXでアイレックまでお寄せください。

